

小規模企業景況調査（島根県企業）簡易版

「平成 20 年度第 1 四半期：調査」

全国商工会連合会集計データによる分析

<調査概要>

調査対象：島根県下 10 商工会（出雲隠岐 6 石見 4） 企業（出雲隠岐 90 石見 60）
 調査時点：平成 20 年 4 月、5 月、6 月
 調査方法：対象企業へ個別協力要請、経営指導員による直接配布回収。企業に自記または聞き取り

<産業全体>

・業況の推移

県下業況はDI値（景気動向指数：前年同期比）は、製造業ではマイナス 41.7（前期比マイナス 16.7 ポイント）。建設業はマイナス 50.0（同マイナス 5.0 ポイント）、小売業ではマイナス 31.7（同プラス 11.2 ポイント）、サービス業はマイナス 42.6（同プラス 0.3 ポイント）で小売業で幾分好転したものの建設業・サービス業では横ばい、製造業の悪化が拡大した。

・売上高と採算性の推移

県下商工会地区全業種平均のDIは、売上高でマイナス 38.0（前期比プラス 4.7 ポイント）であった。採算DIは、マイナス 44.7（同プラス 0.6 ポイント）であった。

<製造業>

製造業のDIは、売上加工高でマイナス 16.7（前期比マイナス 6.7 ポイント）であった。採算DIは、マイナス 50.0（同マイナス 10.0 ポイント）であった。来期（平成 20 年 7 月～9 月）の見通しは、売上、採算、資金繰りで悪化または停滞すると予測している。経営上の問題としては「原材料単価の上昇」が極めて高く、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「需要の停滞」、「製品単価の低下・上昇難」などの原因が上位に挙げられている。

<建設業>

建設業のDIは、完成工事高でマイナス 45.9（前期比マイナス 30.9 ポイント）であった。採算DIは、マイナス 58.3（同マイナス 13.3 ポイント）で、資金繰りDIはマイナス 41.6（同マイナス 16.6 ポイント）となった。来期（平成 20 年 7 月～9 月）の見通しは、完成工事高は更に悪化、採算、資金繰りは好転する兆しがないと予測している。経営上の問題として引き続き「請負単価の低下」「官公需要の停滞」が極めて高く、「材料価格の上昇」や「民間需要の停滞」が上位に位置づけられている。

<小売業>

小売業のDIは、売上高でマイナス 39.0（前期比プラス 12.4 ポイント）、採算でマイナス 39.0（同プラス 5.3 ポイント）、資金繰りでマイナス 32.5（同マイナス 2.5 ポイント）であった。来期（平成 20 年 7 月～9 月）の見通しは、売上高・採算共に悪化が続き、資金繰りで幾分好転すると予測している。経営上の問題として「購買力の流出」が最も高く、「仕入単価の上昇」「大型店進出」「需要の停滞」が上位に位置づけられている。

<サービス業>

サービス業のDIは、売上高でマイナス 42.6（前期比プラス 8.8 ポイント）、採算でマイナス 41.7（同プラス 2.6 ポイント）、資金繰りではマイナス 18.0（同プラス 12.0 ポイント）であった。来期（平成 20 年 7 月～9 月）の見通しは、売上・採算で幾分好転、資金繰りは横ばいの状況と予測している。経営上の問題としては「需要の停滞」「仕入単価の上昇」「ニーズの変化」が極めて高く、「利用料金の低下・上昇難」「店舗老朽化」などが上位に挙げられている。

業種	産業全体			出雲・隠岐（全体）			石見（全体）		
	1～3月	4～6月	前期比	1～3月	4～6月	前期比	1～3月	4～6月	前期比
売上	▲ 42.7	▲ 38.0	4.7	▲ 40.0	▲ 47.8	▲ 7.8	▲ 46.6	▲ 23.3	23.5
採算	▲ 45.3	▲ 44.7	0.6	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 53.3	▲ 36.7	16.6
資金繰り	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	-	-	-	-	-	-	-	-	-

業種	製造業			建設業			小売業		
	1～3月	4～6月	前期比	1～3月	4～6月	前期比	1～3月	4～6月	前期比
売上	▲ 10.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 15.0	▲ 45.9	▲ 30.9	▲ 51.4	▲ 39.0	12.4
採算	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 58.3	▲ 13.3	▲ 44.3	▲ 39.0	5.3
資金繰り	▲ 35.0	▲ 25.0	10.0	▲ 25.0	▲ 41.6	▲ 16.6	▲ 30.0	▲ 32.5	▲ 2.5
業況	▲ 25.0	▲ 41.7	▲ 16.7	▲ 45.0	▲ 50.0	▲ 5.0	▲ 42.9	▲ 31.7	11.2

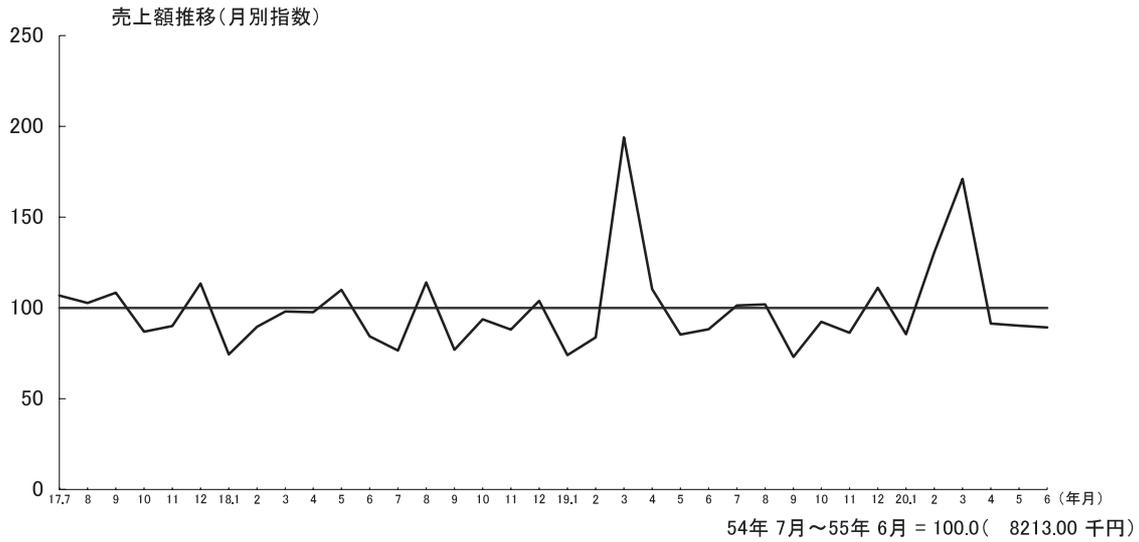
《来期見通し》

業種	サービス業		
	1～3月	4～6月	前期比
売上	▲ 51.4	▲ 42.6	8.8
採算	▲ 44.3	▲ 41.7	2.6
資金繰り	▲ 30.0	▲ 18.0	12.0
業況	▲ 42.9	▲ 42.6	0.3

業種	製造業	建設業	小売業	サービス業
	7～9月	7～9月	7～9月	7～9月
売上	▲ 4.1	▲ 54.2	▲ 41.5	▲ 34.4
採算	▲ 33.4	▲ 58.3	▲ 39.0	▲ 35.0
資金繰り	▲ 12.5	▲ 41.7	▲ 22.5	▲ 18.0
業況	▲ 26.1	▲ 50.0	▲ 31.7	▲ 45.9

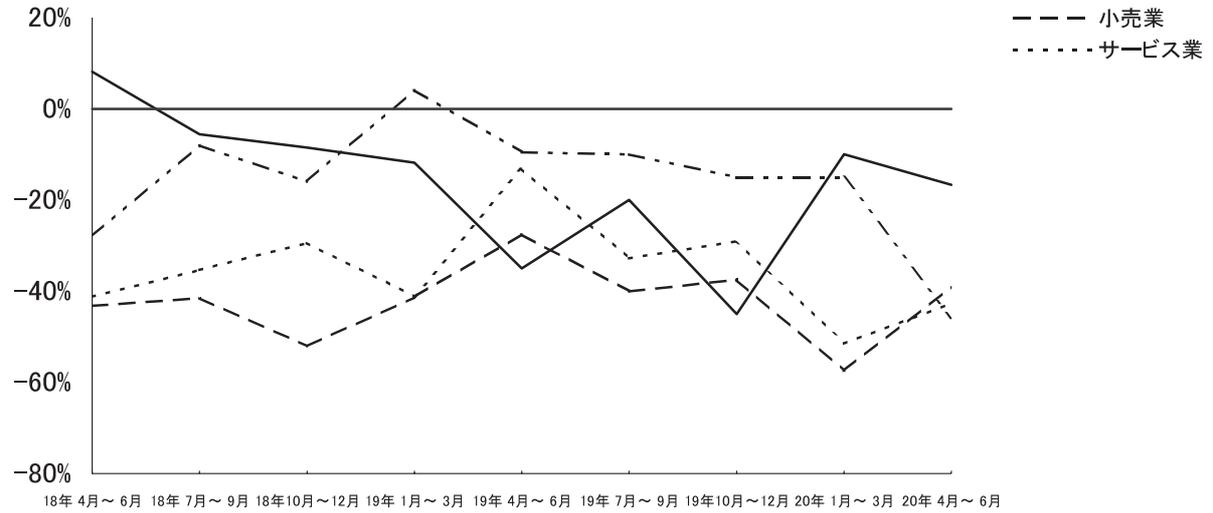
※【DI値】とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての「増加（上昇・好転・長期化）」企業割合と「減少（低下・悪化・短期化）」企業割合の差を示すものである。

島根県 全産業



島根県 全産業

D. I 売上(完成工事)額の推移—前年同期比—



島根県 全産業

D. I 採算の推移—前年同期比—

